

「三原市地域公共交通計画」策定検討の進め方

1. 計画策定の目的

三原市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年施行）」に基づき、令和 2 年 3 月に「第 2 期三原市地域公共交通網形成計画」を策定し、“市民協働による利便性が高く持続可能な地域公共交通体系の維持・充実”を基本理念に具体的な施策や事業に取り組んできた。

計画の最終年度となる本年度において、これまでの公共交通に関する三原市内の取り組みを検証するとともに、計画策定から 5 年を経た現在における公共交通の課題や市民の公共交通に対するニーズ等を把握し、今後の公共交通のあり方や目標、これを達成するための具体的な事業等を設定するため、「三原市地域公共交通計画」（以下「次期計画」という。）を策定する。

2. 現行計画の概要

- 計画名称：第 2 期三原市地域公共交通網形成計画
- 根拠法：地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年施行）
- 対象地域：三原市全域
- 計画期間：令和 2 年度～令和 6 年度（※今年度末）

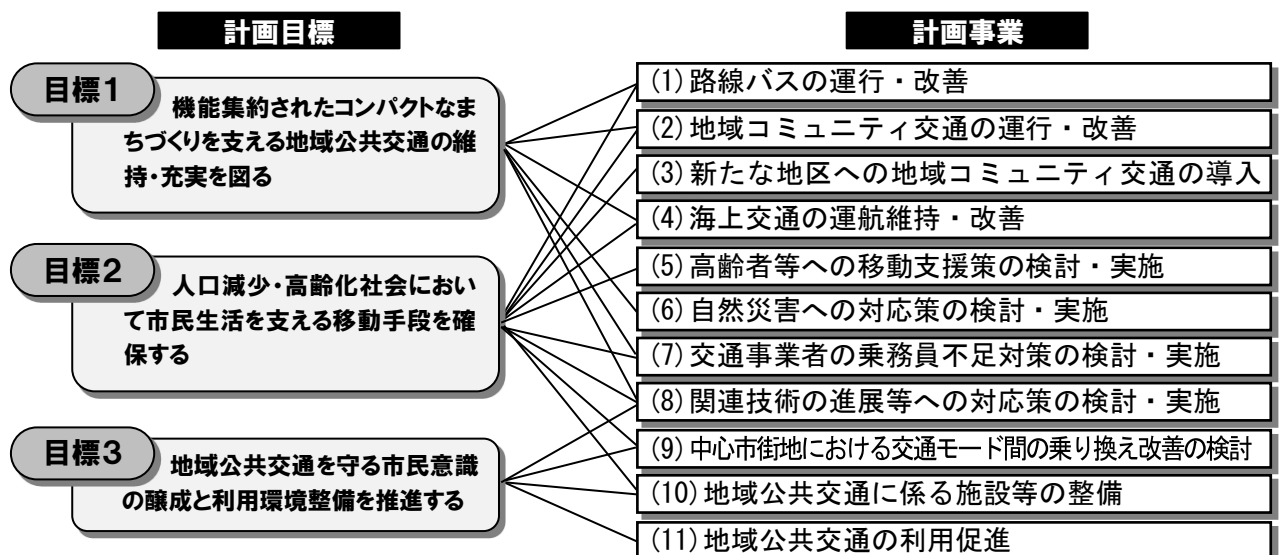
■基本理念

市民協働による利便性が高く持続可能な地域公共交通体系の維持・充実

■基本方針

- ① 地域資源である既存の地域公共交通のサービス持続
- ② 市民ニーズ及び効率性を考慮した地域公共交通体系の維持・充実
- ③ 市域の一体性を強化する地域公共交通体系の維持・充実
- ④ 市民協働を含む関係者の連携による地域公共交通を守り育てる活動の推進
- ⑤ 社会情勢や技術動向の変化に対応できる地域公共交通体系づくり

○目標及び計画事業



3. 計画策定検討の進め方

3.1 基本的な考え方

計画策定にあたっては、次に示す事項に留意して検討を進める。

◆時代の潮流変化への対応

時代の潮流変化を見据えた上で、今はもちろん、将来目線でも課題を捉えて、次期計画内での対応方針及び事業を検討する。その際、国が（補助事業等を含めて）推進に力を入れるデジタル技術活用について、本市で実現可能性のある内容を盛り込む。

◆都市・まちづくり方針との整合

公共交通は都市・まちづくりを支える重要なインフラのひとつであり、「長期総合計画」、「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」等、都市・まちづくり計画を踏まえるとともに、めざすまちの“将来の姿”の実現を公共交通づくりの根幹と捉えた上で、計画事業体系を含む具体的内容を検討する。

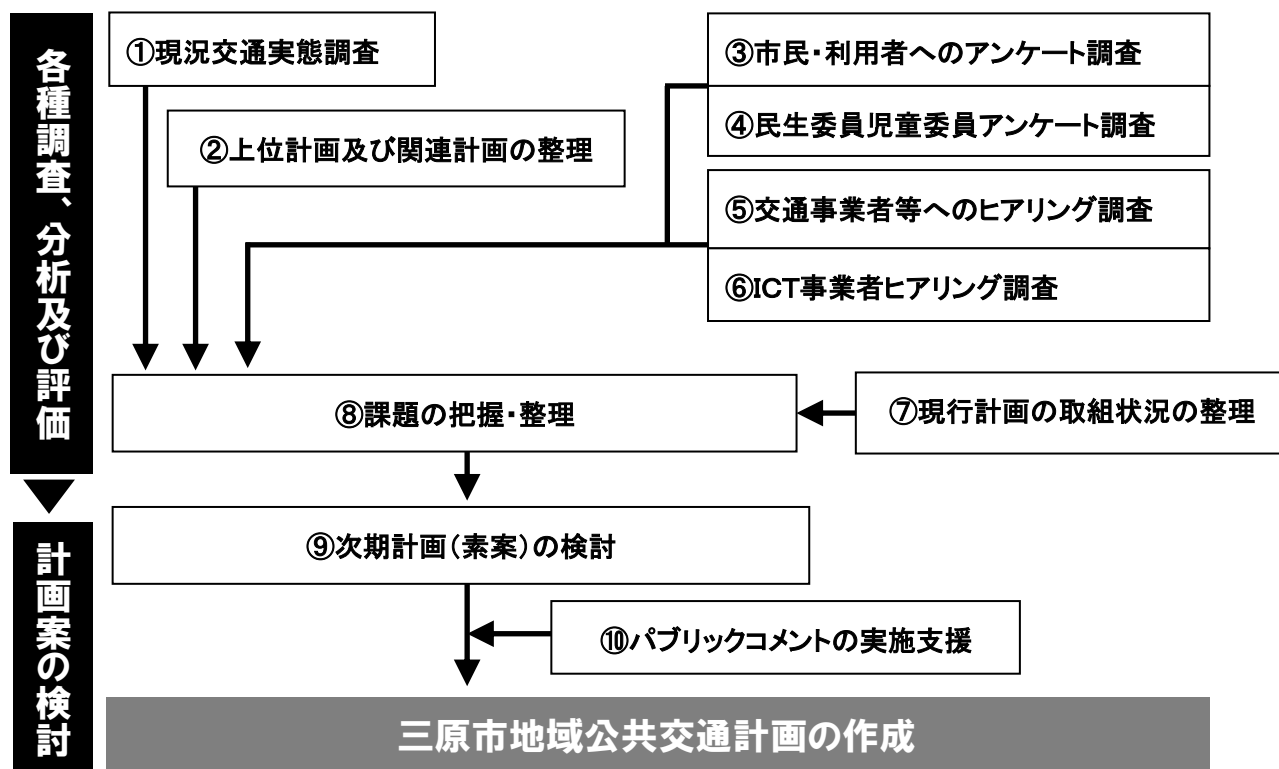
◆既存の公共交通・移動サービスの維持・活用

市民等が現在利用している既存の公共交通・移動サービスをできるだけ維持・活用する。これを前提とし、これまで重要な役割を果たしてきた路線バス／地域コミュニティ交通の「運行見直しスキーム」の考え方は活かし、地域の実情・実態に合わせた内容への更新を検討する。

◆地域住民団体との連携

地域コミュニティ交通を地域の住民団体が自ら運営している本市の特性を活かし、地域住民団体へのヒアリング等を通じて、連携・支援方策について検討する。

3.2 計画策定の流れ



4. 実施概要

① 現況交通実態調査

公共交通に関連する指標等を整理し、本市の地域特性、公共交通の現状等について分析する。

表 整理・分析する指標等

整 理 項 目			使 用 デ ー タ (例)
人口・社会経済	主要施設の 立地状況	病院、教育施設、公共施設 等	地図等より収集（図面で整理）
	人口、年齢別人口の状況（市／地域別）		国勢調査、住民基本台帳人口
	250m メッシュ人口・高齢化率		
	自動車免許保有状況		広島県警（ホームページ掲載）
	就業人口、通勤通学の状況		国勢調査
	観光入込客数		広島県観光客数の動向
	将来の人口の見通し		国立社会保障・人口問題研究所データなど
交通状況	交通施設の 状況	道路網	デジタル道路地図データ
		鉄道網	国土数値情報（鉄道データ）
	鉄道の状況	運行内容	JR 時刻表等
		駅別乗降人員	JR よりデータ収集
	航路の状況	運航内容	各社ホームページ等
		港別乗降人員	三原市保有データ
	路線バスの 状況	路線設置状況	三原市、交通事業者等保有データ
		運行内容	
		輸送人員、路線別収支率	三原市保有データ（市補助路線）
	地域コミュ ニティ交通 の状況	運行内容	三原市保有データ
		輸送人員、路線別収支率	三原市保有データ
バス等の不 便地域	バス路線等のカバー状況	バス停留所からの 300m 圏及び区域運行エリ アに含まれないエリアとして整理	
高齢者等の対策	高齢者・障害者優待利用制度の利用者数		三原市所轄課の保有データ

② 上位計画及び関連計画の整理

公共交通や地域づくりに関連する長期総合計画等の既存計画を抽出・整理する。

表 整理する計画（案）

分 野	整理対象計画（案）
公共交通	○第2期三原市地域公共交通網形成計画（令和6年3月改定版）
（県）	○広島県地域公共交通ビジョン（令和6年3月）
行政・まちづくり	○三原市長期総合計画（策定中、基本構想はR6.3作成）
	○三原市立地適正化計画（平成29年12月）
	○三原市都市計画マスタープラン（平成31年3月）
	○第2期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和6年2月改定）
	○市中心部のグランドデザイン（平成30年3月）
	○三原内港再生基本計画（令和4年3月）
	○第2期三原市中心市街地活性化基本計画（令和5年4月）
	○中山間地域活性化基本方針（平成25年3月）
	○第4期三原市地域福祉計画（令和6年3月）
観光	○第7期三原市障害者プラン（令和6年3月）
	○第9期三原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和6年3月）
	○三原市観光ビジョン（令和6年3月）

③ 市民・利用者へのアンケート調査

ア. 市民アンケート調査

市民の交通行動や移動環境、公共交通に対する評価やニーズ、問題点等を把握するため、アンケート調査を実施する。

表 市民アンケート調査の実施概要（予定）

配布件数	・市内 3,000 世帯を対象。（15 歳以上の市民に配布） ・各世帯に 2 部配付。
配布回収方法	郵送配布、郵送回収。WEB 回答も実施
配布票サイズ	A3 サイズ（両面）1 枚程度を見込む

※実施概要等は変更する場合もある

イ. 利用者アンケート調査

市民アンケートを補完し、特に路線バスや地域コミュニティ交通の評価やニーズ、問題点等を把握する目的で、利用者へのアンケート調査を実施する。

表 利用者アンケート調査の実施概要

	調査手法	
路線 バス	実施概要	◎三原駅前バス停で手渡し配布 調査員がバス停で、バス乗車前の利用者に対して、調査票を配布する。回収は郵送とする。
	配布日	平日（1 日）を予定
	配布枚数見込み	700 枚程度
	調査票のサイズ	A4 両面程度を見込む
地域 コミュ ニティ 交通	実施概要	◎乗務員に配布を依頼 乗務員に協力を依頼し、利用者に調査票を配布。 回収は、郵送または車内回収。
	配布期間	2 週間程度を予定
	調査票のサイズ	A4 両面程度を見込む

※実施概要等は変更する場合もある

④ 民生委員児童委員アンケート調査

各地域で、高齢者の生活支援等に携わっている民生委員児童委員を対象に、担当地域の高齢者等の日常的な移動状況、移動で困っていること・問題点などを把握するためのアンケート調査を行う。

表 民生委員アンケート調査の実施概要

配布対象	・民生委員児童委員、約 250 名（予定）
配布回収方法	・民生委員児童委員の会議において、配布／回収

※実施概要等は、事務局との協議の結果、変更する場合もある

⑤ 交通事業者等へのヒアリング調査

公共交通を運行する民間バス事業者、地域コミュニティ交通を運営する地域住民団体等にヒアリング調査を行い、生活交通手段を維持・確保するための課題、利用促進に向けた意見等を把握する。

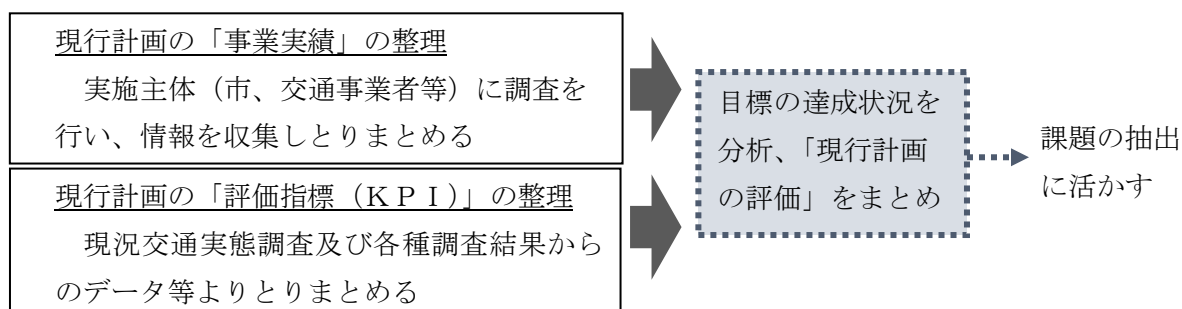
※ヒアリング調査が、通常業務等により困難な場合は、アンケート調査を依頼するなど、柔軟に対応する。

⑥ ICT事業者ヒアリング調査

特にデジタル技術を活用した施策の検討にあたり、専門的な知見を有するICT事業者へのヒアリング調査を実施し、本市の交通課題に適した具体策、その費用感等に関するアドバイス等の意見を得る。

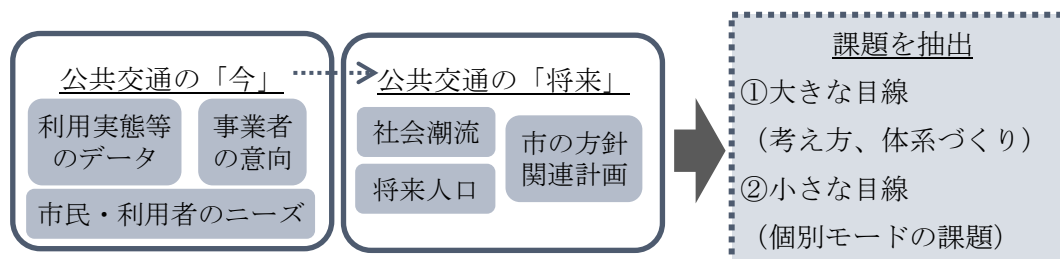
⑦ 現行計画の取組状況の整理

「現行計画」期間の取組状況を整理した上で、各事業を検証・評価する。検証結果は、公共交通の課題抽出、次期計画の事業検討の基礎資料として活用する。



⑧ 課題の把握・整理

課題抽出では、実態把握やニーズ調査結果等、これまでの検討結果を活用して、以下の視点で整理、分析を行う。



⑨ 次期計画（素案）の検討

次期計画を、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に準じた法定計画として位置付けることを念頭に、必要事項について検討する。

■目標・基本方針、地域公共交通の方向性、数値目標の設定

本市の現状や課題、既存計画等を踏まえ、公共交通体系づくりの理念（めざす姿）や基本方針を設定する。めざす姿の設定にあたっては、「都市・まちの将来像」との連携を重視し検討する。

さらに、理念実現のための計画目標を設定するとともに、関連指標、アンケート調査結果、各主体からの意見等も参考に、定量評価のための KPI を検討する。

■基本方針等の実現化方策の検討

目標達成に必要な事業及び実施主体を検討する。

現時点で想定する主な事業の検討方針を以下に示すが、この記載内容は、調査・検討結果等を踏まえて見直すものとする。

ア) 路線バスに関連する方策

- ・運行サービスの維持、必要に応じて効率化等の見直し実施
- ・乗務員不足への対応

※現在運用している「運行見直しスキーム」については、実態を踏まえ必要に応じて見直す。

イ) 地域コミュニティ交通に関連する方策

- ・運行サービスの維持、必要に応じて効率化等の見直し実施
- ・新しい地域における導入ニーズ等への対応

※現在運用している「運行見直しスキーム」については、実態を踏まえ必要に応じて見直す。

ウ) 鉄道に関連する方策

- ・運行サービスの維持及び利便性の向上

エ) 航路に関連する方策

- ・運航サービスの維持及び利便性の向上

オ) その他、「先進事例」を踏まえた事業検討

- ・将来像及び交通課題を踏まえて、本市の持続可能な公共交通づくりのために有効と考えられる具体施策の先進事例を収集・整理する。

■デジタル技術の活用等の検討

先進事例等を参考にした上で、解決すべき課題に対してデジタル技術等の活用が効果的と判断でき、かつ導入（実証含む）が期待できるデジタル施策を検討する。

■利用促進対策の検討

公共交通サービス維持に不可欠な利用促進を図るために、利用しやすい環境づく

り、市民意識の醸成、移動困難者への働きかけなど、実現可能な方策を検討する。

■PDCAサイクルに準じたモニタリング・検証の仕組み

計画の達成状況の評価に関する事項として、短期的な評価（毎年実施）、長期的な評価（計画期間の最終年度に実施）の視点での実施を検討する。

⑩パブリックコメントの実施

検討結果を次期計画（素案）としてとりまとめ、パブリックコメントを実施する。
パブリックコメントは、令和7年1月実施を予定する。

⑪計画の策定

パブリックコメントにおいて市民等から寄せられた意見を反映した上で、次期計画を策定する。

策定期間は、令和7年3月を予定する。

5. 工程計画

表 業務スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■各種調査、分析及び調査									
現況交通実態調査									
上位計画及び関連計画の整理									
市民・利用者等へのアンケート調査									
交通事業者等へのヒアリング調査									
現行計画の取組状況の整理									
課題の把握・整理									
■計画（素案）の検討									
■パブリックコメント実施									
■計画策定									
■三原市地域公共交通活性化協議会（予定）	◎ (書面協議)			◎		◎			◎

三原市の生活交通に関するアンケート調査

＜調査ご協力をお願い＞

市民の皆様には、日頃から市政運営についてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて本市では、皆様の暮らしや地域の実情に即した持続可能な公共交通体系を構築するため、現在、「三原市地域公共交通計画」の策定作業を進めております。

ついては、この計画検討の基礎情報とするため、市内の公共交通の利用状況、改善点などについて皆様にご意見をお聞きすることとしました。

お忙しい中ご面倒とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、三原市内にお住まいの3,000世帯を対象にお配りしております。

令和6年8月

三原市長 岡田 吉弘

三原市地域公共交通活性化協議会

会長（県立広島大学）上 水流 久彦

ご回答にあたって

- 1 ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、個人を特定することはありません。
- 2 調査票が2部封入されています。世帯のうち15歳以上の方、2人までにご回答をお願いします。（15歳以上が1人の場合は、その1人だけがご回答ください）
また、ご記入が困難な方は、ご家族の方などが代筆していただいても差し支えありません。
- 3 回答できるのはひとり1回です。（同じ人が2回以上回答することはおやめください。）
- 4 ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**9月9日（月）**までにポストにご投函ください。（切手は不要です）
- 5 インターネット（パソコンやスマートフォン等）での回答も可能です。
※インターネットでご回答いただく場合、以下のURLにアクセスしてください。スマートフォン・タブレット等からは、右のQRコードを読み取ってアクセスできます。

<https://.....>

インターネット回答の期限：9月9日（火）

＜お問い合わせ先＞

この調査について、ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

三原市 生活環境部 生活環境課 電 話：0848-67-6178

FAX：0848-64-4103

三原市の公共交通

三原市内の公共交通には、鉄道（新幹線、在来線）、路線バス、地域コミュニティ交通、タクシーなどがあります。

三原市公共交通ナビ

市内の公共交通情報はこちらでご覧いただけます



<凡例>

路線バス 芸陽バス，中国バス，トモツバス，おのみちバス

地域コミュニティ交通※

幸崎町渡瀬・奥三地区おでかけ号
佐木島循環バス

本郷ふれあいタクシー
大和ふれあいタクシー
八幡町民タクシーさくら号
久井町乗合タクシーはなさく号

エリア内を運行

航路 土生商船，弓場汽船，マルト汽船，瀬戸内クルージング

※「地域コミュニティ交通」について

鉄道や路線バスが走っていない地域などにおいて、住民の暮らしを支えるために、地域住民団体等が主体となり運行している公共交通のこと。
市内6地域で運行しており、そのうち4地域は運行エリア内を予約に応じて利用する「デマンド型交通」です。

生活交通に関するアンケート調査票

※あてはまる番号に○をつけるか、（ ）内に必要な記入をお願いします。

質問6 地域コミュニティ交通の利用についておたずねします

①あなたは、次の地域コミュニティ交通を利用したことがありますか。（利用が最も多いもの1つに○）
※同封している「お願い文」「ウラ面」の「三原市の公共交通」を参考にお答えください。

- 1. 本郷ふれあいタクシー
- 2. 久井町乗合タクシーはなさく号
- 3. 大和ふれあいタクシー
- 4. 佐木島循環バス
- 5. 幸崎町渡瀬・奥三地区おでかけ号
- 6. 八幡町民タクシーさくら号
- 7. いずれも利用したことはない

●(「1～6」の方へ) その地域コミュニティ交通に満足されていますか。(1つに○)

- 1. 大変満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 大変不満

※(「4、5」の方へ) 不満な点や改善を望む具体的な内容は何ですか。

●(「7」の方へ) 利用しない理由に最も近いのはどれですか。(1つに○)

- 1. 使う必要がない(車など他に便利な手段があるなど)
- 2. 自宅の近くを走っていない、近くに乗り場がない
- 3. 運行していることを知らなかった
- 4. 予約方法や利用方法がよくわからない
- 5. 利用してみたいが、(最初は)使うのが不安
- 6. 運行する範囲が限られている(町外など広く運行しないと使えない)
- 7. その他(具体的に)

質問7 路線バスの維持の考え方について

①路線バスを維持するために、現在、運行赤字を行政が一部負担しています。行政が負担することをどのように思いますか。(最も近いもの1つに○)

- 1. さらに行政負担を増やして、今の路線バスを充実するべき
- 2. 行政負担を継続して、今の路線バスを維持するべき
- 3. 利用が少ない路線は廃止や減便して、行政負担を減らすべき
- 4. 行政が赤字負担する必要はなく、廃止もやむを得ない

■最後に、三原市の公共交通に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

ご記入いただいたアンケート用紙は同封の返信用封筒にて、9月9日(月)までにご返送ください。

質問1 あなたご自身のことについておたずねします

①性別(1つに○)	※自認する性をお書きください 1. 男性 2. 女性 3. ()
②年齢(1つに○)	1. 15～17 歳 2. 18～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳 5. 50～59 歳 6. 60～69 歳 7. 70～79 歳 8. 80 歳以上
③ご職業(主なもの1つに○)	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業・自由業 3. 農林漁業 4. 家事専業 5. アルバイト・パート 6. 中学生 7. 高校生 8. 大学生・専門学校生 9. 無職 10. その他(具体的に)
④お住まいの郵便番号 または町名	お住まいの郵便番号(※今回お送りした封筒にも記載しています) 〒 7 2 - - - - 郵便番号が分からない場合、お住まいの町名(※番地は記載不要です) 三原市()
⑤運転免許の保有(1つに○)	1. 自動車運転免許あり 2. バイク・原付のみ免許あり 3. 持っていない
⑥免許返納の予定(1つに○)	※免許を持つ方にお聞きます 1. 数年のうちに返納する予定 2. しばらく返納しない
⑦あなたが自由に使える 移動手段(該当するもの全てに○)	1. 自動車 2. バイク・原付 3. 自転車 4. なし 5. その他(具体的に)
⑧バス等の優待乗車証の利用 (1つに○)	1. 敬老優待を利用 2. 障害者優待を利用 3. 利用していない

質問2 あなたの普段の外出についておたずねします

①あなたは普段、どのような目的で外出されますか。(主なもの2つまでに○)

※隣近所ではなく、市・地域の中心や市外等へ外出する場合についてお答えください。

- 1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 生活必需品の買物(食料品や日用品など)
- 5. ショッピングや趣味・レジャー 6. 業務 7. 家族を送迎 8. その他(具体的に)

②あなたは、上記の目的で、主にどこの地域へ外出されますか。(該当するもの全てに○)

- 1. 三原地域 2. 本郷地域 3. 久井地域 4. 大和地域 5. 尾道市
- 6. 竹原市 7. 東広島市 8. 世羅町 9. その他(具体的に)

③その場合、あなたは主に何の手段で外出されますか。(該当するもの2つまでに○)

※同封している「お願い文」「ウラ面」の「三原市の公共交通」を参考にお答えください。

- 1. 路線バス 2. 本郷ふれあいタクシー 3. 久井町乗合タクシーはなさく号 4. 大和ふれあいタクシー
- 5. 幸崎町おでかけ号 6. 八幡町民タクシーさくら号 7. 佐木島循環バス 8. JR
- 9. 自家用車(自分で運転) 10. 自家用車(送迎) 11. バイク・原付 12. タクシー
- 13. フェリー・高速船・旅客船 14. 自転車 15. 徒歩のみ
- 16. その他(具体的に)

④あなたは、日常生活での“移動”に満足していますか。(1つに○)

※隣近所ではなく、市・地域の中心や市外等へ外出する場合についてお答えください。

1. 大変満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 大変不満

⑤あなたは、数年後の移動手段に不安を感じますか。(1つに○)

1. 不安を感じていない 2. やや不安 3. とても不安(困ることが見込まれる)

■④で不満(4、5)または⑤で不安(2、3)と回答された方にお聞きます。
具体的に、「不満」や「不安」に感じる内容は何ですか。

【記入例】・路線バスのバス停が遠くて、利用できない
・年齢とともに自動車の運転が怖くなってきた
・今は家族が送迎してくれているが、将来の移動手段に不安を感じる など

質問3 市内の 路線バス の利用についておたずねします

※バス事業者(芸陽バス、中国バス、トモテツバス等)が運行する市内の路線バスについてお答えください。
(地域コミュニティ交通は含みません)

①あなたは、路線バスをどの程度利用されていますか。(1つに○)

1. 週に6～7日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日
4. 月に2～3回 5. 月1回程度
6. あまり利用しない 7. 全く利用しない

※1～6の方は、②以降をお答えください。

※7と回答された方にお聞きます。
路線バスを利用しない理由は何ですか。
(該当するもの全てに○)

1. 車など、他に便利な手段がある
2. バス停が遠すぎる
3. 本数が少なすぎる
4. その他()

右下の⑥へ進んでください

②あなたが路線バスを利用するとき、主にどのような目的で利用されていますか。(2つまでに○)

1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 生活必需品の買物(食料品や日用品など)
5. ショッピングや趣味・レジャー 6. 業務 7. その他(具体的に)

③あなたが路線バスを利用するときの主な外出先は、どこですか。(該当するもの全てに○)

1. 三原地域 2. 本郷地域 3. 久井地域 4. 大和地域 5. 尾道市
6. 竹原市 7. 東広島市 8. 世羅町 9. その他(具体的に)

④あなたは、三原市内における現在のバス運行に満足されていますか。(1つに○)

1. 大変満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 大変不満

⑤あなたは、バス時刻表や乗り場などの情報をどのように調べることが多いですか。(該当するもの全てに○)

1. 紙の時刻表 2. バス会社に電話する 3. バス会社のホームページ
4. その他インターネット 5. 家族、知人に聞く 6. その他(具体的に)

⑥ここからは全員の方におたずねします。

あなたが、路線バスを利用しにくいと感じている点はどのようなことですか。(該当するものを3つまでに○)

1. 家からバス停が遠い 2. 目的地まで時間がかかる 3. バスの便数が少ない
4. 始発の時間が遅い 5. 最終便の時間が早い 6. 渋滞などで運行が遅れる
7. バス運賃が高い 8. 行きたい場所へのバス路線がない 9. バス相互の乗り継ぎが不便
10. バスと鉄道の乗り継ぎが不便 11. バス車両の乗降口の段差が大きい 12. バス停に待合い施設(ベンチ、上屋)がない
13. 運行時刻や路線がわかりにくい 14. 特になし 15. その他(具体的に)

質問4 市内発着の JR の満足度についておたずねします

①あなたは、三原市内発着の「JR」をどのくらい利用していますか。(1つに○)

1. 週に6～7日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日 4. 月に2～3回 5. 月1回程度 6. あまり利用しない 7. 全く利用しない

(ア)最も利用が多いのは、何駅から何駅の間ですか。(主な利用区間を1つだけお答えください)

()駅 ～ ()駅

(イ)そのJRの運行や駅施設に満足していますか。(1つに○)

1. 大変満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 大変不満

■④、⑤と回答された方にお聞きます。 不満な点や改善を望む具体的な内容は何ですか。
(該当するものを3つまでに○)

1. 本数が少ない(在来線) 2. 本数が少ない(新幹線) 3. 目的の駅まで時間がかかる
4. 始発の時間が遅い 5. 最終の時間が早い 6. 運賃が高い
7. 目的の駅への直通が少ない 8. 鉄道相互の乗り継ぎが不便 9. 駐車場がない・狭い
10. 駅にエレベーター・エスカレーターがない
11. その他(具体的に)

質問5 市内発着の 航路 の満足度についておたずねします

①あなたは、三原市内発着の「航路(フェリー・高速船・旅客船)」をどのくらい利用していますか。(1つに○)

1. 週に6～7日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日 4. 月に2～3回 5. 月1回程度 6. あまり利用しない 7. 全く利用しない

(ア)最も利用が多いのは、どの航路ですか。(主な航路を1つだけ○)

1. 三原～鷺～沢～瀬戸田(旅客船) 2. 三原～小佐木～向田～沢～瀬戸田(旅客船)
3. 三原～鷺～重井～因島モール～土生～立石(高速船) 4. 須波～向田～沢(フェリー)
5. 尾道駅前～新浜～重井東～須ノ上～沢～瀬戸田(旅客船)

(イ)そのフェリー・高速船・旅客船や港施設に満足していますか。(1つに○)

1. 大変満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 大変不満

■④、⑤と回答された方にお聞きます。 不満な点や改善を望む具体的な内容は何ですか。
(該当するものを3つまでに○)

1. 便数が少ない 2. 始発の時間が遅い 3. 最終の時間が早い
4. 運賃が高い 5. 駐車場がない・狭い
6. その他(具体的に)

質問5へ進んでください

4ページに進んでください

※4ページにつづきます

三原市の生活交通に関するアンケート調査

<調査ご協力のお願ひ>

市民の皆様には、日頃から市政運営についてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて本市では、皆様の暮らしや地域の実情に即した持続可能な公共交通体系を構築するため、現在、「三原市地域公共交通計画」の策定作業を進めております。

ついては、この計画検討の基礎情報とするため、市内の公共交通の利用状況、改善点などについて皆様にご意見をお聞きすることとしました。

お忙しい中ご面倒とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年9月

三原市長 岡田 吉弘

三原市地域公共交通活性化協議会
会長（県立広島大学）上 水流 久彦

ご回答にあたって

- 1 ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、個人を特定することはありません。
- 2 ご回答は、本調査票を受け取ったご本人にお願いします。
- 3 選択肢の中より、あてはまる番号に○をつけてください。○の数は、質問によって異なりますので、質問をよく読んでお答えください。
また、（ ）内には具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、返信用封筒（切手不要）に入れて、

9月17日（火）までに「郵便ポスト」へご投函ください。

- 5 インターネット（パソコンやスマートフォン等）での回答も可能です。

※インターネットでご回答いただく場合、以下のURLにアクセスしてください。スマートフォン・タブレット等からは、右のQRコードを読み取ってアクセスできます。

<https://.....>

インターネット回答の期限：9月17日（火）

<お問い合わせ先>

この調査について、何かご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

三原市 生活環境部 生活環境課 電話：0848-67-6178
FAX：0848-64-4103

生活交通に関するアンケート調査票

※あてはまる番号に○をつけるか、() 内に必要な記入をお願いします。

質問1 あなたご自身のことについておたずねします

①性別(1つに○)	※自認する性をお書きください 1. 男性 2. 女性 3. ()
②年齢(1つに○)	1. 17 歳以下 2. 18～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳 5. 50～59 歳 6. 60～69 歳 7. 70～79 歳 8. 80 歳以上
③ご職業(主なもの1つに○)	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業・自由業 3. 農林漁業 4. 家事専業 5. アルバイト・パート 6. 中学生 7. 高校生 8. 大学生・専門学校生 9. 無職 10. その他(具体的に)
④お住まいの郵便番号 または市・町名	お住まいの郵便番号 〒 - 郵便番号が分からない場合、お住まいの町名(※番地は記載不要です) (市・町)
⑤ご自宅から近くの、 よく使うバス停までの時間 (1つに○)	1. 徒歩 1～2 分程度 2. 徒歩 3～5 分程度 3. 徒歩 6～10 分程度 4. 徒歩 11～15 分程度 5. 徒歩 16 分～20 分程度 6. 徒歩 21～30 分程度 7. 徒歩 31 分以上 8. 自宅近くのバス停は利用しない
⑥運転免許の保有 (1つに○)	1. 自動車運転免許あり 2. バイク・原付のみ免許あり 3. 持っていない
⑦免許返納の予定 (1つに○)	※免許を持つ方にお聞きます 1. 数年のうちに返納する予定 2. しばらく返納しない
⑧あなたが自由に使える移動 手段(該当するもの全てに○)	1. 自動車 2. バイク・原付 3. 自転車 4. なし 5. その他(具体的に)
⑨優待乗車証の利用 (1つに○)	1. 敬老優待を利用 2. 障害者優待を利用 3. 利用していない

質問2 アンケート票を受け取ったときの移動についておたずねします

①この「アンケート票」を受け取ったとき、三原駅前の何番(2～7)の乗り場から乗車し、どの停留所(バス停)で降りましたか。

乗り場の番号(2・3・4・5・6・7)番のりば ⇒ 降車したバス停()

②この「アンケート票」を受け取ったときの、おおよその時間をお答えください。

だいたい(午前 ・ 午後) 時ごろ

※ウラ面につづきます

質問3 普段の路線バスの利用についておたずねします

①あなたは、三原市内の路線バスをどのくらい利用していますか。(1つに○)

1. 週に6～7日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日 4. 月に2～3回 5. 月1回程度 6. その他()

②どのような外出目的で、路線バスを利用することが多いですか。(多い目的、2つまでに○)

1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 生活必需品の買物(食料品や日用品など)
5. ショッピングや趣味・レジャー 6. 業務 7. その他(具体的に)

③どちらへ行く時に、路線バスを利用することが多いですか。(1つに○)

1. 三原地域 2. 本郷地域 3. 久井地域 4. 大和地域 5. 尾道市
6. 竹原市 7. 東広島市 8. 世羅町 9. その他(具体的に)

④目的地(行った施設)はどこが多いですか。お分かりになる範囲でお答えください。(該当するもの全てに○)

- 買い物施設 1. イオン三原店 2. フジグラン三原店 3. その他店舗(名称)
病院・医院 4. 三原赤十字病院 5. 興生総合病院 6. その他病院(名称)
学 校 7. 如水館高校 8. 広島県立大学 9. その他学校(名称)
鉄道駅 10. 三原駅 11. 本郷駅 12. その他駅(名称)
その他施設 13. 勤務先 14. その他施設(具体的に)

質問4 路線バスの満足度や問題などについておたずねします

①あなたは、市内の路線バスに満足されていますか。(1つに○)

1. 大変満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 大変不満

②あなたが、バスを利用しにくいと感じている点はどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 家からバス停が遠い 2. 目的地まで時間がかかる 3. バスの便数が少ない
4. 始発の時間が遅い 5. 最終便の時間が早い 6. 渋滞などで運行が遅れる
7. バス運賃が高い 8. 行きたい場所へのバス路線がない(その場所は?)
9. バス相互の乗り継ぎが不便 10. バスと鉄道の乗り継ぎが不便 11. バス車両の乗降口の段差が大きい
12. バス停に待合い施設(ベンチ、上屋)がない 13. バスの運行時刻や路線がわかりにくい
14. 特になし 15. その他(具体的に)

③あなたは、これからも路線バスを利用すると思いますか。(1つに○)

1. 今後も変わらず利用したい
2. 今後は利用回数が減ると思う
3. そのうち利用しなくなると思う
4. わからない
5. その他(具体的に)

※2、3と回答された方にお聞きします。
なぜ、そう思うのですか。具体的にお書きください。

④路線バスの運行に関して、ご意見、利用者を増やすためのアイデアなどがあれば、お書きください。

ご協力ありがとうございました。ご記入後のアンケート用紙は 9月17日(火)までに、返信用封筒にてご返送ください。

三原市の生活交通に関するアンケート調査

<調査ご協力のお願ひ>

市民の皆様には、日頃から市政運営についてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて本市では、皆様の暮らしや地域の実情に即した持続可能な公共交通体系を構築するため、現在、「三原市地域公共交通計画」の策定作業を進めております。

ついては、この計画検討の基礎情報とするため、市内の公共交通の利用状況、改善点などについて皆様にご意見をお聞きすることとしました。

お忙しい中ご面倒とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年9月

三原市長 岡田 吉弘

三原市地域公共交通活性化協議会

会長（県立広島大学）上 水流 久彦

ご回答にあたって

- 1 ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、個人を特定することはありません。
- 2 ご回答は、本調査票を受け取ったご本人にお願いします。
- 3 選択肢の中より、あてはまる番号に○をつけてください。○の数は、質問によって異なりますので、質問をよく読んでお答えください。
また、（ ）内には具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、返信用封筒（切手不要）に入れて、

9月24日（火）までに

「車内の回収箱」，または「郵便ポスト」へご投函ください。

<お問い合わせ先>

この調査について、何かご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

三原市 生活環境部 生活環境課 電 話：0848-67-6178

FAX：0848-64-4103

生活交通に関するアンケート調査票

※あてはまる番号に○をつけるか、() 内に必要な記入をお願いします。

質問1 あなたご自身のことについておたずねします

①性別(1つに○)	※自認する性をお書きください 1. 男性 2. 女性 3. ()
②年齢(1つに○)	1. 17 歳以下 2. 18～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳 5. 50～59 歳 6. 60～69 歳 7. 70～79 歳 8. 80 歳以上
③ご住所(1つに○)	1. 大和町 2. 三原市内(大和町以外) 3. 三原市以外
④ご職業(主なもの1つに○)	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業・自由業 3. 農林漁業 4. 家事専業 5. アルバイト・パート 6. 中学生 7. 高校生 8. 大学生・専門学校生 9. 無職 10. その他(具体的に)
⑤運転免許の保有 (1つに○)	1. 自動車運転免許あり 2. バイク・原付のみ免許あり 3. 持っていない
⑥免許返納の予定 (1つに○)	※免許を持つ方にお聞きます 1. 数年のうちに返納する予定 2. しばらく返納しない
⑦あなたが自由に使える移動手段 (該当するもの全てに○)	1. 自動車 2. バイク・原付 3. 自転車 4. なし 5. その他(具体的に)
⑧優待乗車証の利用 (1つに○)	1. 敬老優待を利用 2. 障害者優待を利用 3. 利用していない

質問2 アンケート票を受け取ったときの移動についておたずねします

①受け取ったのは、何曜日 の 何時頃の便ですか。

■曜日(1つに○)

月 ・ 水 ・ 金

■時間

だいたい (午前 ・ 午後) 時ごろ

質問3 普段の「大和ふれあいタクシー」の利用についておたずねします

①あなたは、「大和ふれあいタクシー」をどのくらい利用していますか。(1つに○)

1. 運行日は毎日 2. 週に1～2日程度 3. 月2～3回程度 4. 月に1回程度 5. その他(具体的に)

②どのような外出目的で、利用することが多いですか。(多い目的、2つまでに○)

1. 通院 2. 生活必需品の買物(食料品や日用品など) 3. ショッピングや趣味・レジャー
4. 通勤 5. 通学 6. 業務 7. その他(具体的に)

※ウラ面につづきます

③どちらへ行く時に、「大和ふれあいタクシー」を利用することが多いですか。(1つに○)

1. 大和地域中心部 2. 三原市中心部 3. その他(具体的に)

また目的地(行った施設)はどこが多いですか。お分かりになる範囲で、お答えください。

(記入例) ○○医院、スーパー○○、親戚の家 など

④「大和ふれあいタクシー」は、行き、帰りのどちらの利用が多いですか。(1つに○)

1. 行き・帰り(往復)の利用が多い 2. 行きだけの利用が多い 3. 帰りだけの利用が多い

⑤「大和ふれあいタクシー」から「路線バス」に乗りついで、利用することはありますか。(1つに○)

1. よく路線バスに乗りつぐ 2. たまに路線バスに乗りつぐ 3. あまり乗りつがない 4. 全く乗りつがない

質問4 「大和ふれあいタクシー」の満足度や問題などについておたずねします

①「大和ふれあいタクシー」に満足されていますか。(1つに○)

1. 大変満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 大変不満

②あなたが、「大和ふれあいタクシー」を利用しにくいと感じている点はどのようなことですか。(3つまでに○)

- | | | |
|----------------------------|----------------|-------------------|
| 1. 運行日(週3日)が少ない | 2. 1日の運行回数が少ない | 3. 運行する曜日(月水金)が不便 |
| 4. 外出時の時間が不便 | 5. 帰宅時の時間が不便 | 6. 目的地まで時間がかかる |
| 7. 到着する時間が分からない | 8. 予約が不便 | 9. 路線バスとの乗り継ぎが不便 |
| 10. 運行車両の乗降口の段差が大きい | | 11. 利用方法がわかりにくい |
| 12. 町外の目的地に直接行けない(その場所は?) | | 13. 特になし |
| 14. その他(具体的に) | | |

③あなたは、これからも「大和ふれあいタクシー」を利用すると思いますか。(1つに○)

1. 今後も変わらず利用したい
2. 今後は利用回数が減ると思う
3. そのうち利用しなくなると思う
4. わからない
5. その他(具体的に)

※2、3と回答された方にお聞きします。

なぜ、そう思うのですか。具体的にお書きください。

④「大和ふれあいタクシー」のご意見、利用者を増やすためのアイデアなどがあれば、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート用紙は 9月24日(火)までに、返信用封筒で
ポストへ投函、または「大和ふれあいタクシー」車内の回収箱までご返送ください。

生活交通に関するアンケート調査（民生委員・児童委員）

＜調査ご協力のお願い＞

皆様には、日頃から市政運営についてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて本市では、市民の生活行動や、地域の実情に即した持続可能な公共交通体系を構築するため、現在、「三原市地域公共交通計画」の策定作業を進めております。

ついては、この計画検討の基礎情報とするため、民生委員・児童委員の皆様に、地域の生活移動でお困りになる高齢者等の実態や問題点などについてのご意見をお聞きするアンケート調査を実施することとしました。

お忙しい中ご面倒とは存じますが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年9月

~~~~~ ご記入にあたって ~~~~~

- 1 ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用しません。
- 2 調査票は、民生委員・児童委員の方にご回答をお願いします。
- 3 ご記入いただいた調査票は、返信用封筒（切手不要）に入れて、9月20日（金）までにポストへご投函ください。

【調査主体】三原市

【問い合わせ先】三原市 生活環境部 生活環境課

電話：0848-67-6178

## ～ 以下の設問にご回答をお願いします ～

※あてはまる番号に○をつけるか、（ ）内に必要な記入をお願いします

### 質問1 民生委員・児童委員として活動される地区についておたずねします

①あなたの担当地区はどちらですか。（1つに○）

1区    2区    3区    4区    5区    6区    7区    8区    9区    10区    11区

②上記の中で、あなたが担当している  
地区名をお教えてください。

（記入例）福地、内畠など

